



株式会社

良品計画

第36期中間報告書

2014.3.1-2014.8.31

証券コード：7453

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに当社第36期中間期(平成26年3月1日から平成26年8月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当中間期の国内事業では、3月の増税前の駆け込み需要は想定以上の伸びを示し、4月以降の反動による大きな落ち込みもなく堅調に推移いたしました。これは、当社の「価格も表記も変わりません。」という総額表記に対する姿勢がお客様にご好評いただいたことや、積極的に取り組んできた店舗のスクラップ&ビルドと“新環境”への売場改革が奏功した結果だと考えております。

海外事業では、中国を中心にアジアでの売上が大きく伸長し、アジア、米国の既存店売上高は前年同期を上回って推移しました。また9月に、フランスのバリにオープンした「MUJI Forum des Halles Place Carree」は欧州の旗艦店舗として素晴らしい売場ができあがり、お客様から大変ご好評いただき、好調なスタートを切っております。

これらの結果、当中間期の営業収益は1,235億87百万円(前年同期比18.7%増)、経常利益は118億4百万円(同10.9%増)、中間純利益69億31百万円(同6.4%増)となり、上期の連結業績は5期連続の増収、4期連続の増益で当社の上半期としては、過去最高益を更新いたしました。

無印良品は単なる製品の集まりではなく、くらしの些細な断片から地球規模の未来までを見通し、考え抜く気配りの集合体でありたいと思います。そして、社会で今起きている様々な課題に敏感に呼応し、「良心とクリエイティブ」によってそれらをより良い方向に解決していくプラットフォームでありたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

金井政明



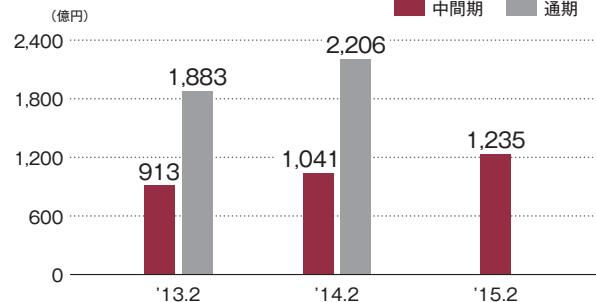
財務ハイライト

営業収益

1,235億円

前年同期比 18.7%増 ↑

▶ 営業収益

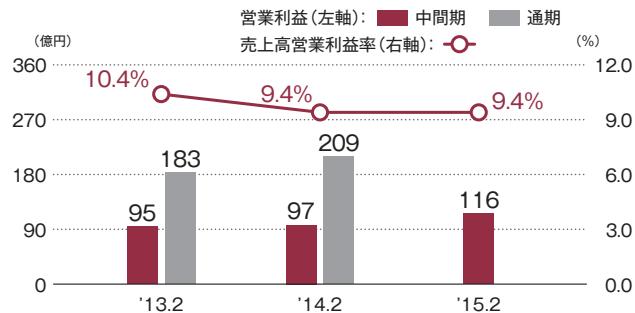


営業利益

116億円

前年同期比 19.7%増 ↑

▶ 営業利益 / 売上高営業利益率

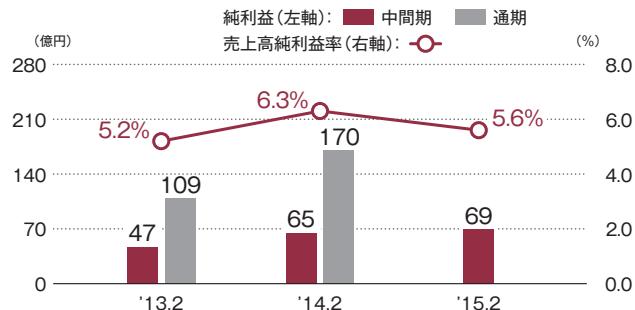


純利益

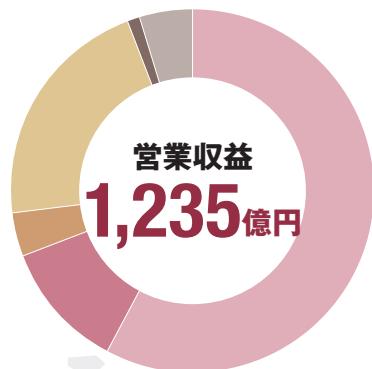
69億円

前年同期比 6.4%増 ↑

▶ 純利益 / 売上高純利益率



セグメント別概況



構成比率

国内直営事業 … 57.8%

- ▶ 営業収益
714億17百万円 (前年同期比9.5%増)
- ▶ 営業利益
56億79百万円 (前年同期比5.1%減)

国内供給事業 … 11.4%

- ▶ 営業収益
140億79百万円 (前年同期比7.3%増)
- ▶ 営業利益
11億1百万円 (前年同期比7.8%増)

欧州地域事業 … 3.9%

- ▶ 営業収益
47億59百万円 (前年同期比16.8%増)
- ▶ 営業損失
2億58百万円 (前年同期79百万円の損失)

アジア地域事業 … 21.2%

- ▶ 営業収益
262億42百万円 (前年同期比76.9%増)
- ▶ 営業利益
27億16百万円 (前年同期比69.1%増)

その他地域事業 … 1.1%

- ▶ 営業収益
13億52百万円 (前年同期比42.5%増)
- ▶ 営業損失
22百万円 (前年同期19百万円の利益)

その他 … 4.6%

- ▶ 営業収益
57億36百万円 (前年同期比3.5%減)
- ▶ 営業利益
26億14百万円 (前年同期比58.2%増)

衣服・雑貨部門では、春の「フレンチリネン」シリーズ、夏の「オーガニックコットン二重ガーゼ」シリーズなど、素材にこだわった紳士および婦人ウェアが大きく伸長し、売上を牽引しました。また、生活雑貨部門では、仕様を改良した定番のベッド「脚付マットレス」や新商品「リビングでもダイニングでもつかえるソファチェア」が大きく貢献しました。食品部門では、バラエティの増えたレトルト食品が好調に推移いたしました。

一般供給先店舗および西友店舗は、消費税増税以降も堅調に推移し、店頭売上高が前年同期に比べて5.2%の増加となりました。これに伴い供給売上高も増加いたしました。

各国ともに2桁の増収となりましたが、出店や改装の遅れが生じた影響により販管費が増加し減益となりました。

前期に35店舗増加した中国の伸長に加え、2014年1月に台湾無印良品股份有限公司を分法適用会社から完全子会社化したことにより、売上が大きく伸長いたしました。春先には、季節商品の納期遅れにより低迷いたしました。夏以降は好調に推移いたしました。

米国においては、前期より積極的に出店を進めたことにより、ブランドの認知度が高まり増収となりましたが、新店の開店前費用および、一部の不振店の影響により減益となりました。

アジア地域でライセンスストアを展開する国における出退店は、2店舗の出店、1店舗の退店を実施したことに加え、前述した台湾無印良品股份有限公司を完全子会社化したことにより、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は15店舗となりました。また、当社の事業である飲食事業は、好調な既存店に加えて1店舗の出店を行い、2桁増収となりました。

財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2014年8月31日現在)	前期 (2014年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	85,795	77,290
現金及び預金	23,419	25,206
受取手形及び売掛金	8,681	6,965
有価証券	30	20
棚卸資産	43,458	36,849
未収入金	6,582	4,933
その他	3,631	3,323
貸倒引当金	△7	△7
固定資産	71,682	62,939
有形固定資産	31,455	22,178
無形固定資産	12,281	12,383
投資その他の資産	27,945	28,376
資産合計	157,478	140,229
負債の部		
流動負債	33,669	26,865
固定負債	9,331	2,349
負債合計	43,000	29,214
純資産の部		
株主資本	108,888	103,858
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,825	10,825
利益剰余金	98,650	93,845
自己株式	△7,354	△7,578
その他の包括利益累計額	2,369	3,933
その他有価証券評価差額金	1,327	1,641
為替換算調整勘定	1,042	2,291
新株予約権	378	345
少数株主持分	2,841	2,876
純資産合計	114,477	111,015
負債純資産合計	157,478	140,229

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2014年3月1日から 2014年8月31日まで)	前中間期 (2013年3月1日から 2013年8月31日まで)
売上高	123,260	103,854
売上原価	64,937	55,735
売上総利益	58,322	48,119
営業収入	327	293
営業総利益	58,649	48,412
販売費及び一般管理費	47,013	38,690
営業利益	11,636	9,722
営業外収益	336	959
営業外費用	168	34
経常利益	11,804	10,646
特別利益	77	—
特別損失	56	137
税金等調整前中間純利益	11,825	10,508
法人税等	4,935	4,017
少数株主損益調整前中間純利益	6,890	6,491
少数株主損失(△)	△40	△21
中間純利益	6,931	6,512

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2014年3月1日から 2014年8月31日まで)	前中間期 (2013年3月1日から 2013年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,431	7,849
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,490	△4,949
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,901	△4,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△598	670
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,755	△815
現金及び現金同等物の期首残高	25,001	31,397
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,245	30,582

主要経営指標

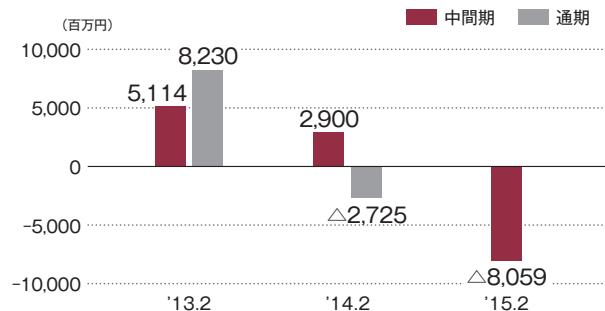
▶ 自己資本比率



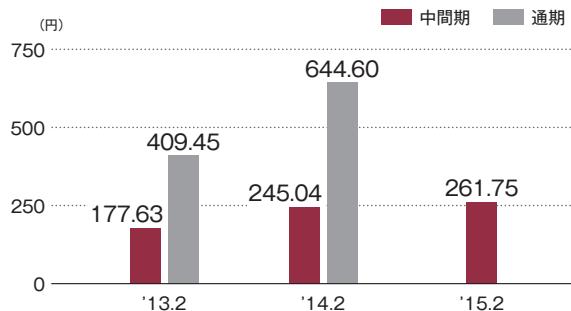
▶ 自己資本中間(当期)純利益率(ROE)



▶ フリーキャッシュ・フロー



▶ 1株当たり中間(当期)純利益



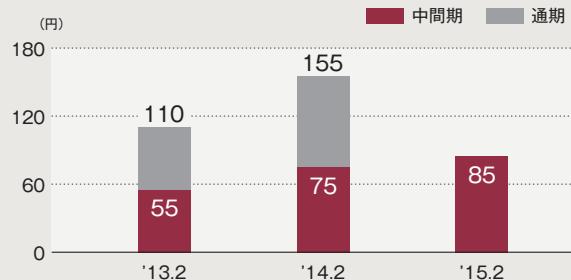
株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、1株当たり利益を向上させることが、責務であると認識しております。

利益配当金につきましては、連結の業績に基づいた配当とし、配当性向につきましては30%(年間)を基準にしております。

この方針のもと、今期中間配当金は85円とさせていただきます。

▶ 1株当たり配当金



埼玉県に新物流センターが完成

この度、新たな物流センターとして「株式会社良品計画鳩山センター」を埼玉県鳩山町に完成させ、8月18日に竣工式を行いました。

新たに設置する鳩山センターは、首都圏店舗への商品供給を行っている浦安センター（千葉県）から置き換えることにより、業務の効率および対応力を増強し、さらなる成長性が見込まれる首都圏の事業拡大を支えてまいります。

また、衣服・雑貨を中心とした海外生産地からの輸入商品の管理、および当社の各物流センター（浦安センター、神戸センター、福岡センター、新潟センター）への商品供給を行う長岡調達センター（新潟県）の機能を移設することにより、商品運搬コスト、センター運営コスト、倉庫賃料の低減を図ってまいります。



良品計画 鳩山センター 概要

- (1) 事業所名：株式会社良品計画 鳩山センター
- (2) 所在地：埼玉県比企郡鳩山町大字奥田字羽黒114番2
- (3) 投資額：139億円（土地、建物、物流機器等）
- (4) 規模：敷地面積 166,000m²
施設延床面積 105,200m²（大底含む）
（建物 地上4階地下1階建）
- (5) 構造 柱：鉄骨鉄筋コンクリート構造
梁：鉄骨構造
- (6) 稼働開始 2014年11月17日予定

国際デザインコンペティション 「MUJI AWARD 04 in CHINA」結果のお知らせ

国際デザインコンペティション「MUJI AWARD」は世界のクリエイターによる作品からグローバルに通用する日用品のリソースの発見と新たな商品開発、才能発掘にも貢献することを目的に当社が2006年から3年間にわたり開催した国際デザインコンペティションです。

5年ぶりに開催した第4回「MUJI AWARD」は、審査、発表、表彰、展示の全てを上海で行うことで、中国市場における無印良品の価値観の更なる認知向上を図るとともに、中華およびアジアの歴史、文化、日常生活に敬意を払い、中国およびアジア全域の才能発掘にも貢献したいという趣旨のもと、無印良品(上海)商業有限公司主催で開催いたしました。世界49カ国より4,824作品の応募をいただき、厳正な審査の結果、最高賞である金賞2作品、銀賞該当作品なし、銅賞5作品、審査員推薦賞10作品が選ばれました。

テーマ:「未来の暮らしに続くデザイン」 <http://www.muji.net/award>



金賞: 収納の本



金賞: 石ころチョーク

生活になじむキッチン家電シリーズを発売

生活の道具としての観点から考えたキッチン家電のシリーズが新しくデビューしました。家電は生活の道具でありながら、機能性重視の「主役となる家電」が世の中には多く見受けられます。当社では、「生活の基本となる本当に必要なものを、本当に必要なかたちでつくること」という開発の基本の考え方を反映させ、これまでにない、「生活の道具としての家電」を考えました。単機能であることで、世代、性別、国を越えて長く使い続けられる、コンパクトで生活の邪魔にならないこれからの時代にふさわしい生活家電です。

目指したのは、キッチンを取り巻く環境に調和し、愛着を持って長く使える生活になじむキッチン家電。冷蔵庫やレンジやオーブントースターは生活の背景となるよう、目立たないシンプルで優しい箱形のデザインを採用しています。また、炊飯器やポップアップトースター、電気ケトル、ミキサーなどは手に近い道具としてやわらかく優しいかたちをしています。家電を含め、トータルで「感じ良い暮らし」を実現する無印良品の新しいキッチン家電をご覧ください。

暮らしにとけこむ、キッチン家電 <http://www.muji.net/electronics/>



会社概要

会 社 名	株式会社良品計画 (RYOHIN KEIKAKU CO.,LTD.)
所 在 地	〒170-8424 東京都豊島区東池袋四丁目26番3号
電 話	03-3989-4403(総務人事担当)
設 立	1989年6月(登記上 1979年5月) ※額面変更のため合併を行っております。
資 本 金	67億6,625万円
決 算 日	2月末日
年 商	1,787億円(2014年2月期営業収益)
従 業 員 数	5,985名(パートタイム社員4,499名を含む)
国内店舗数	直営店281店舗、商品供給店116店舗
海外店舗数	イギリス 12店舗 / フランス 11店舗 / イタリア 9店舗 / ドイツ 7店舗 / アイルランド 1店舗 / スウェーデン 7店舗 / ノルウェー 4店舗 / スペイン 5店舗 / トルコ 2店舗 / ポーランド 1店舗 / ポルトガル 1店舗 / 米国 9店舗 / 香港 13店舗 / シンガポール 8店舗 / マレーシア 3店舗 / 韓国 12店舗 / 中国 108店舗 / 台湾 29店舗 / タイ 10店舗 / オーストラリア 2店舗 / インドネシア 5店舗 / フィリピン 7店舗 / クウェート 1店舗 / UAE 2店舗 合計 269店舗
主 な 事 業	「無印良品」を中心とした専門店事業の運営 / 商品企画 / 開発 / 製造 / 卸しおよび販売
ホームページ	企業情報ページ http://ryohin-keikaku.jp/

役 員

代表取締役会長 (兼)執行役員	松井 忠三	取 締 役 (兼)執行役員	鈴木 啓	監 査 役	服部 勝	執 行 役 員	亀谷 哲夫
代表取締役社長 (兼)執行役員	金井 政明	社 外 取 締 役	酒 巻 久	監 査 役	渋谷 道夫	執 行 役 員	田中 満
専 務 取 締 役 (兼)執行役員	松崎 暁	社 外 取 締 役	遠 藤 功	監 査 役	原 邦 明	執 行 役 員	萩原 由美子
常 務 取 締 役 (兼)執行役員	加藤 隆志	社 外 取 締 役	伊 藤 俊 明	常務執行役員	徳江 純一	執 行 役 員	岡崎 令
常 務 取 締 役 (兼)執行役員	小森 孝	常 勤 監 査 役	松 井 仁	執 行 役 員	大木 宏人		

会計監査人

有限責任 あずさ監査法人：東京都新宿区津久戸町1番2号 あずさセンタービル

株式の状況

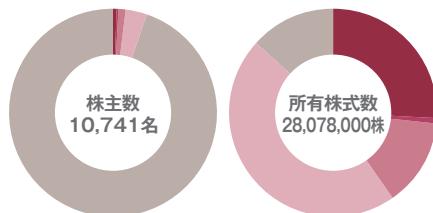
発行可能株式総数	112,312,000株
発行済株式の総数	28,078,000株
株 主 数	10,741名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 信託口	2,004	7.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口	1,902	6.77
State Street Bank and Trust Company (standing proxy:HSBC)	1,291	4.60
三菱商事株式会社	1,078	3.84
Nomura Bank (Luxembourg) S.A. S/A Nomura Multi Currency Japan Stock Leaders Fund	889	3.16
State Street Bank and Trust Company (standing proxy:Mizuho BK)	718	2.55
株式会社クレディセゾン	631	2.25
株式会社ファミリーマート	561	2.00
JUNIPER	538	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口9	533	1.89

(注) 自己株式1,505,932株は含んでおりません。

株主分布状況



■ 金融機関	70名	7,278,100株
■ 証券会社	35名	254,202株
■ その他の法人	124名	3,785,800株
■ 外国法人・外国人	345名	13,050,255株
■ 個人その他*	10,167名	3,709,643株

*「個人その他」には自己株式1名1,505,932株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/ index.html

【株式に関する住所変更等の届出および照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご連絡ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記電話照会先までご連絡ください。

公告方法	当社のホームページに掲載する。 http://ryohin-keikaku.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	7453
単元株式数	100株